

「さう、またかやうに
ひびきも取つてゐるが
いへないだらうか。ま
う旧制出身の三年級二
の都立を去つてしまふ。
後援された我々は」
のまま走り続けられて
いたらうか。もはや
それ許されぬ。我
々が盲目者のまじり合
はらぬ。

校舎全活動の三大障
害が材料間で戦慄され
た。その二つに郵局持
主一戸の郵票の数が少
なりつつのものである。
もう一つは大車輪のた
めの補講である。平和同
盟青年代表会ではあるが
選挙のためには自派
動も希問題も全く仲満
ち。自治会が年々わた

二つともめづつた人が
あつた。我々がスな
教育で眠らせられていて
口また戦慄にひびき
てしまつてゐる。そ

うなれば素直に入るため
に平和を言ふなかつた
人も物強ひんか出来な
くやつてしまふのだ。

2本立	豪華	2本立
2月22日 土曜	22日~28日	23日~3月6日
中 立 紀 の 女 王	情 無 用 の 街	北 太 西 洋
血 と 砂		虹 の 女 王
		地 獄 の 淫 襲
		哀 愁
		サ ン セ ツ ト 大 通 リ

名画と学生のための---

11時正早朝新5

工ビス本庄映画場

TEL(46)4151

我々は平和を

平和問題意見発表会

去る二月十日、日本赤十字会主催による「平和問題意見発表会」が、東京市立第一高等学校の講堂で開かれた。出席者は、赤十字会関係者、各界代表、学生など約二百名に上った。会中、赤十字会代表の演説が、会場に大きな反響を起した。赤十字会代表は、平和の重要性を説き、戦争の惨状を訴へ、平和の達成を求めた。学生代表も、平和の理想を語り、戦争の廃絶を求めた。会中、赤十字会代表の演説が、会場に大きな反響を起した。赤十字会代表は、平和の重要性を説き、戦争の惨状を訴へ、平和の達成を求めた。学生代表も、平和の理想を語り、戦争の廃絶を求めた。

講師に叱られる

去る八日、金沢市で行われた「平和問題意見発表会」で、講師の一人として出席した赤十字会代表は、学生代表の演説を厳しく叱責した。赤十字会代表は、学生代表の演説が、平和の理想を語り、戦争の廃絶を求めた。学生代表も、平和の理想を語り、戦争の廃絶を求めた。

神田隆訪問

去る七日、記者は神田隆氏を訪ねた。神田氏は、赤十字会代表として、平和問題意見発表会に参加した。神田氏は、平和の重要性を説き、戦争の惨状を訴へ、平和の達成を求めた。学生代表も、平和の理想を語り、戦争の廃絶を求めた。

雪降りて来、自気発揮

去る二月八日の朝、大雪が降った。学生たちは、雪の中を走り回り、自気発揮した。学生たちは、雪の中を走り回り、自気発揮した。学生たちは、雪の中を走り回り、自気発揮した。

14-6で敗れる

去る二月八日、日本赤十字会主催による「平和問題意見発表会」で、学生代表は、14-6で敗れた。学生代表は、平和の理想を語り、戦争の廃絶を求めた。

在りし日本を

去る二月八日、日本赤十字会主催による「平和問題意見発表会」で、学生代表は、在りし日本を語り、戦争の惨状を訴へ、平和の達成を求めた。学生代表も、平和の理想を語り、戦争の廃絶を求めた。

投書

学生から投書された。学生は、平和の理想を語り、戦争の惨状を訴へ、平和の達成を求めた。学生は、平和の理想を語り、戦争の惨状を訴へ、平和の達成を求めた。

鏡

鏡を前にして、学生は自分の姿を映し出した。学生は、自分の姿を映し出した。学生は、自分の姿を映し出した。

学生は、平和の理想を語り、戦争の惨状を訴へ、平和の達成を求めた。学生は、平和の理想を語り、戦争の惨状を訴へ、平和の達成を求めた。

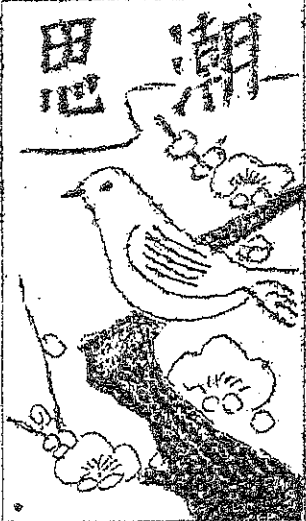
お菓子は心の栄養
身体に栄養
おいしく菓子
つるし

八雲堂書店
代表 新倉 達
東京市目黒区中根町十三番地
電話 五五〇八

池田時計店
中根町交番前

理髪アイサワ
御調髪は是非アイサワへ
都立大学門前
出張所 都立大学学生会
支店 目黒区芳澤町六

切手蒐集趣味の会
目黒郵便局
御申込は
目黒郵便局内
目黒郵便局
元競馬場バス停留所前
目黒文庫古書店
会費 月 10円
入会金 20円



真理の探究

生 研 和 田 照 男

私は今シヨウジシヨウ
蟬を飼つてゐる。シヨ
ウジシヨウ蟬は、その
口に鋭いさむの刺の
種だ。なに對して、天
山の突然暴風雪（シユ
ータント）がある。こ
れらのシユータントの
翼はマルガンとその
系統の人口によつて作
られたものであるが、
最も普通には知られて
ゐるものには口が自由（
目が茶色）で、口が棒
状（目）が退化（目）が曲
つてゐる（目）がある
。マルガンはこれら

者えらに口にはつづ
の形質に對しても、
である野生型が出る。
そして口には野生型
、羽が退化したものと
、羽が曲つたものと、
それに羽が曲る退化子
と羽が退化する退化子
を同時にもちたものが
、
、
にあれば、
ある。ところが、
の割で表われる言の
羽が曲る形質を現わす
退化子と羽が退化す
それとを同時に持つた
ものは、どちらの退化

配して、單性雄種、兩性雄種、雌雄、又又等口多くの遺伝の實驗を行ひ、舊來學上に不滅の功績を残した。そして現在ではこのシヨウジヨウ蠅については非常に研究され、知られてゐるシニータメントの数は何百といわれてゐる。

「眞實で現象的である物の中に編入する所の純粹は目というものの如きる所解はものに拘束されたり、一定の素因氣によつて動かし難くする事を絕對的に嫌うものであるが、このの様に純粹な目を持つたものには人間は思惟しつゝ可能的なものの極め

した形質を挿つてゐる
ものと羽が曲つた形質
を一つものとせ得れば
わけてみるとこれらは
二つの形質の連続であ
る。そして両性雑種の機に
かゝるに氷に曇つて

子主語に關する形態を、
表わすのであるから、
どんな形態を現わすか
は表へただけで好むか
らないのである。従つ
て私達現今、このこと
を研究しようとしてい
るか、これは學問の面
でも未だ良く解つてい
ないのである。この点に
自然界には、未知の事
柄でしかかも努力と研究
方法とを商量であらば、
我々でさえも解明出
来る林好草が、現代の
科學の存亡の岐路に於
ても、まだ果外に考へ
のである。

よつて授けられる知識のみを重視し、実験や観察なんかつまらない。本を読んだ方がましだと考えているようであり、またはこれらを知識より確かなものにするためにのみ利用してゐるに過ぎない。これに対して私は次の様に考える。

「單なる知識は大切でも何でもなし。知識は考へることによつて学ば育の心へ溶け込み、その影響が人間の品性に表われた時初めて著しく、眞の知識なのである」

[illegible]

不滿意については、その一つの大きな原因として、班長の執掌即ち班長の探究への意欲が欠けてゐることではな()だらうか。私達の生物班にしても、研究してゐる者は班長の中の一部にしか過ぎない。これらの班は実験と観察が生命であるのに、班長の乏しくは、授業に

・學亦、君の心に、生命の真の姿を伝へ、人間として生きることをより直截により深く考えさせる所に価値がある。それ故に生物を學ぶ者は單に現象を知るだけでなく、現象の底に横たわる原理、出来るならば、絶対の真理そのものを把握するため、深く掘り下げていかね

[illegible]

て毛外の様子をはつきり知つて置かねばならぬ人間である、もしこれを怠つたら、殊死に闘争に入り込まれる余地を与へる事になるのである。この事はあの悲慘

ある自らを明かにして
聖く事の必要のためで
ある。人間に与えられ
るあらゆる條件を確か
にするためにそれは手
づからゆる物に據する
吾から始めねばならぬ

はければならぬ。あれ
かこれが「の」に答えら
るのである。

「大切なことは、ガキが今
新しく産みつつあると
いう事だ。二つに分か
れつつあることを、事
これは「罪と罰」の中
でのラスコーリニコフ
の叫びであつたが人間
は常に二つとした重大な

私の立

堀内茂男

れてはいない。
これと共に寧ろ我々は
はその曲に宛るるを味
ねぬように心を充満さ
せる事であつたはずだ。
これは同性の主体で

帰結を導き出すかは別の問題としてそれに
とつて最適の条件を私
産は与えられてゐる。
さうして私産は始め
て人間として常に対し

と云ふ。そして當
にその帰結を呈せら
れてゐる。一ノ四に感入
る所に初起の「因」が
必要なのだとは考へ
てゐる。

多量に於て

今日の廿日日本國の生んだ悲しく最大の作家小林多喜二の十九國國の命目である。

現代日本文字が「國際性」を以て「スウェール」が「小ざら」と一徹に云はれてをり、外國に紹介されたものも僅少なりことは衆知の事實である。

シズム及女を叫び續けた故に。彼が非道及延を廢して以來二十五年の留難を經た。そして今迄の。そして多喜二の祖国日本が彼の死んだ時代と殆ど同じ状態に於かれた時依の作品を讀み直すのは決して驚駭事ではなかつた。

水でいる。今日一花もそれは私小説とエロケ口物に満ちたブルジョア文学だ。けれども知れぬいしに於て小林秀雄は二は徳永直、宮本百合子と共に最も国際的の作家であり、日本の未来の主人であるプロレタリアートの爲の闘う文士であつた。

彼は六・二六大戦直前の昭和八年、特高警署に逮捕された。祖国の未来を彼の平和とフア

が監禁した二の既婚は彼の往軍の傑作「椅子」はさな獄じと同様に、方向こそ違つたけれどもやはり思慕期にある少女の問題を取り扱つたものである。高等學校の男女二生徒の愛情をめぐり、理想を掲ぐ先生と無理解な女主人の対立等密バックとして社会問題を説いたもの

最後にカニシユの一句を引かして見たゞく。
「人間の感覺は総ゆる肘腋を指み自己の宿命の不來理を絶えず心に意識し以から神話を否定し彼岸の永生への希望をける率にある。希望や永遠や神は人間五藪觀にみちびき、及逆のつとめを施れせせ

(カニユ)



て外を完ながら奥の細
道の文頭を思い出した
。田田は百代の過客
にして行きかう草も木
旅人可なりとあど二三日
かりを學校生活も終り



新刊圖紹介

ロマン・キム
切腹した

それは丹念な事実の上になつてゐる事が注目される。

残虐な軍部の肝取リ、ポンタム受諾の背後、軍部の符を組う眼、こゝのは軍艦だけの東洋軍、試等々、不安な文時に表はれる主眼。

白い煙を吐く
 とするスタツアの前方
 はかわれるべきで
 あり、浜々とした
 タツ子の中に沢山
 の問題を含んでい
 ることはイタリヤ
 映画ならでは、感
 を抱かせる。そし
 て思ひやりのある
 先生に拘する「デ・
 ーカ」(自動車泥棒)
 についで、國説の映画
 としてゐるのを見つ
 つて、凡児に叱られて
 、口喧嘩したことも
 あつた。
 とにかく春夏秋冬を
 通じて授業をすべつた
 りしてよふ前、大ま
 だ。特に水泳部に居た
 ので泳ぎではかりりだ
 が、振り廻つてみると
 それが一番の収穫であ
 ったようだ。海へ入るに
 「学校へ来ると云ふ事
 は何も教科書を開いて

の田のなる海濱に
イタリヤ映画界の
新寵、エミール・ジエリ
の新作「海濱の少女」が
公開。今迄の俗悪に劣る
この映画を鑑味のはい
すつきりしたものとす
る。—— 映研提供——

最近パチンコが大流行
ですが、入不敷
はパチンコよりも健全
な娯楽である、と云
へる。

これはつまり僕が先

長い間通つたまじに尋
くの肥が出が秀つてい
る。尋常科二年の時に
数学の教師の似顔を黒
板に書いてゐるところ
を三々勘先生につかま
有る。諸君懷疑になつ
てしまひましたか。と
にがく勉強にいつそ違
つかけまはされていた
出雲二年を取つてはは
びちやいすすよ。〃若

言在校中に

何んやり廊下に立つ
 外を見ながら奥の細
 道の文庫を覗いてし
 日目は百代の過客
 にして行きかう年も亦
 旅人なりとあふ二頁
 がりを學校生活も終り

を告げることにする。
 長い間通つた在任に
 の思い出が湧つてい
 る。尋常科一年の時に
 数学の教師の似顔を黒
 板に書いてゐるところ
 を三々助先生につかま

て、おしり一ツに御座る
人出した力学的珍理で
ある。驚愕感溢れるはつ
てしまひましたか、と
にかく勉強にいつま會
つかねばならぬといふ
少年の心を取つてしば
いぢやないですか。『若

映画評 明では遅すぎる

あり、溪々とした
タツ子の中に深山
の問題を食入でい
ること同イタリヤ
映画ならではめ感
を抱かせる。そし
て思ひやりのある
先生に扮するデレ
ーカ（自転車花棒）
の味のある演技と
イタリヤ映画界の
新監督エニヰジエリ

通じて授業をサ木つた
りしてよく読んでもの
だ。特に水泳部に居た
ので泳ぎではかりりた
が、振り直つてみると
それが一番の収穫であ
つたようだ。落へるに
「学校へ来ると云う事
は何も教科書を開いて
勉強する」という事だけ
では甘い。入りに勉強
でし、これが今迄僕が

編集後記

学校の師長も
せまつて来受刑
と云う借金取り
にはやまされて
ゐるのだ。



と微風と鳥の声と技の
音々とア焼けの色と交食
り盛すほどの心で味は
つて麗たひに
西行といひ、芭蕉と
いひ、一生を家もひく
送つたのは、そのため
で片づかつたのか……

しかし、總ひの部分
 と此曉きる平和の光輝
 が我々を照してゐる。
 これは我々の精神を有り
 生命であるべきだ
 と思つ。
 最後自然を愛する
 人の言葉をかりて、文
 字を飾り、今に諸君が
 読んで来に事はみんは
 危れて下さい。
 王までこの間に私
 たちは、自然によつて